

2 個別事業評価調書

団体名:伊根町

事業名		伊根浦観光地域力育成事業					
事業の概要		伊根町の舟屋群は全国的にも珍しい景観であり、観光客の入込状況は平成5年のNHK連続ドラマ「ええによぼ」の放映で38万まで伸びたもののその後は入込客数は25万人前後となっている。舟屋群の景観保存に取り組む国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたが、平成19年12月2日の国道178号養老伊根バイパスの開通により、舟屋群を経由する道路の交通量が激減している。 伊根浦舟屋群を観光資源として有効に活用するため、案内看板の整備、舟屋群を使ったイベントを積極的に実施していくことにより誘客及び認知度のアップとともに、地域と一体となった活動により地域力の活性化を図るため、事業を実施する。					
		事業期間	平成20年4月1日～平成21年3月31日				
		総事業費	3,977	本年度事業費	3,977	交付金交付額	1,287
事業評価	事業の必要性	国の重要伝統的建造物群保存地区に選定されたが、舟屋の認知度はそれほど高く無く、観光資源として機能させるには認知度の向上及び地域の協力が不可欠である。案内看板の設置やイベントを通じた宣伝により認知度の向上を図り誘客に結び付けるとともに、地域の舟屋群を保存し活用しようとする意識を高める必要がある。					
	事業の有効性	観光PR効果や看板の設置により、知名度のUPと交流人口が増えることで地域経済の活性化が図れた。地域の舟屋群に対する意識の高揚が図れた。					
	事業の効率性	伊根浦舟屋群を中心にした施策を重点的に実施することで効果的なPRとなった。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 丹後広域観光キャンペーン協議会等広域組織の観光キャラバンに観光パンフレットを使用した。					
		2 住民の自治意識を高める成果 伊根町の認知度を上げることで、地域住民の舟屋保存やまちづくりの意識の高揚を図った。地域の協力を得て、舟屋群に一斉に提灯を点灯し舟屋をライトアップするなど、地域全体で取り組みを実施し、舟屋保存やまちづくりに対する意識の高揚に寄与した。 意識の高揚により、町内において舟屋や景観を利用した起業が行われるなど地域力の活性化が図れた。					
		3 リーディング・モデル成果					
4 広域的波及成果							
5 行財政改革に資する成果							
6 その他の成果 伊根独自の「舟屋」が建ち並ぶ「伊根浦伝統的建造物群保存地区」の地域内でイベントを実施し、重伝建指定を広くPRすることができた。							

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。